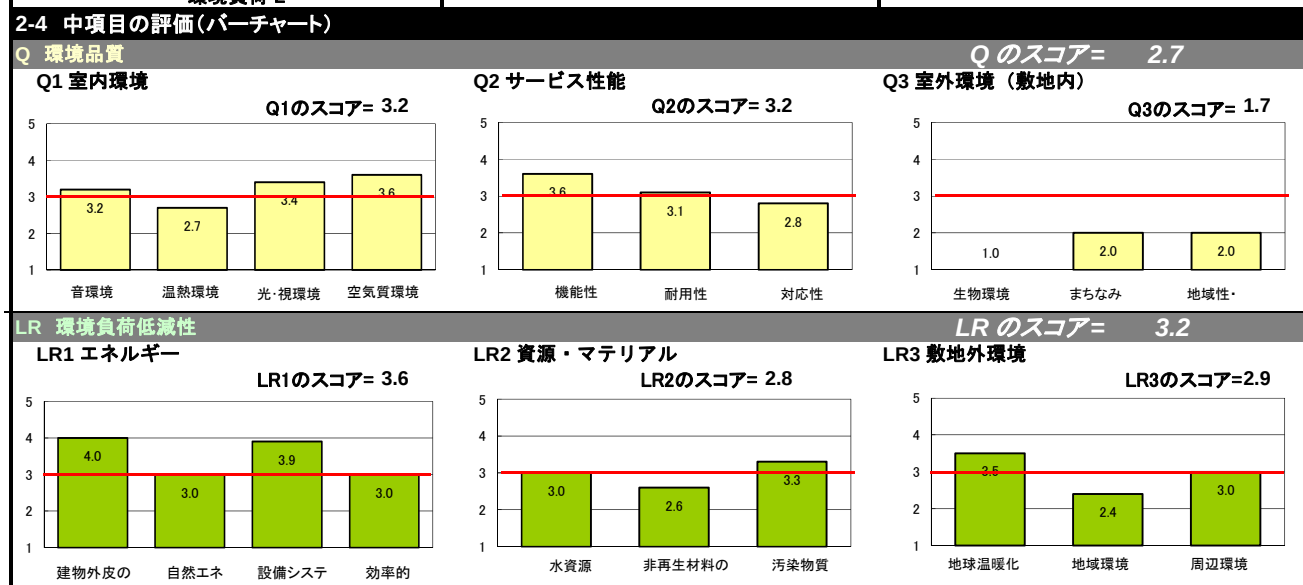
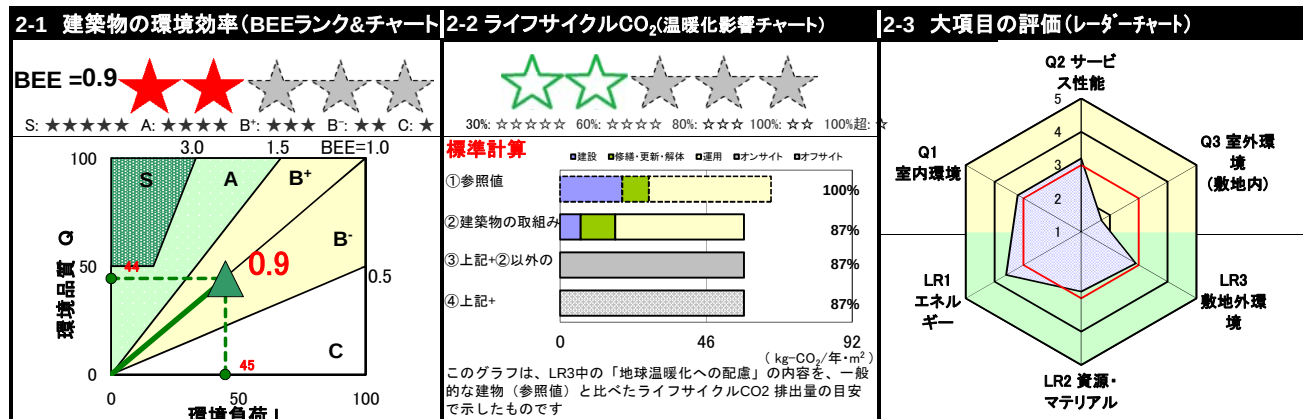




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プリシア横浜石川町	階数	地上11F
建設地	横浜市中区長者町一丁目1番5	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 竣工	評価の実施日	2023年5月23日
敷地面積	860 m ²	作成者	(株)クレオー級建築士事務所
建築面積	574 m ²	確認日	
延床面積	5,461 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 建築基準法を遵守した上で、計画前に比べ緑地部分を増やす等、居住者が不自由なく過ごせる空間を整備し、地域環境へも配慮した計画としている。		その他
Q1 室内環境 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面に採用している。	Q2 サービス性能 鉄筋コンクリート造の劣化対策等級3の性能確保。	Q3 室外環境(敷地内) 建物外部において、視線を遮らない樹木の配置、庭園灯による夜間照明の設置、防犯カメラの設置、防犯に役立つ窓の配置などを行い、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4である。	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 建築物の熱負荷抑制(庇による日射遮蔽、Low-Eガラスによる断熱強化)。LED照明設備。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 プリシア横浜石川町

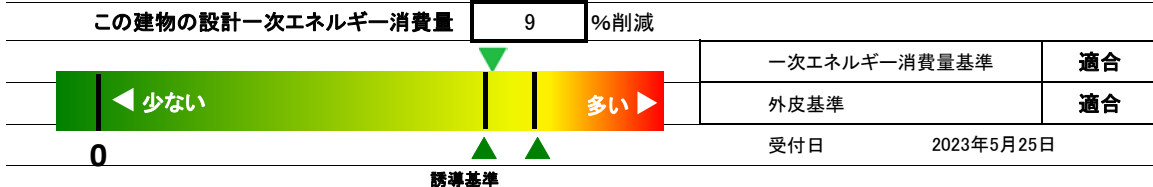
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

断熱等性能等級4以上を確保

BEI=0.91

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

断熱等性能等級4以上を確保

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

日本住宅性能表示基準「6-1ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)」における等級2を満たしている。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

コンクリート劣化対策等級3

給水VP(B)、排水VP(B)、通期VP(A)、EIは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

外構緑化係数が、10%以上20%未満を示す規模の外構緑化を行い、なおかつ中高木を植栽している。

植栽により、良好な景観を形成している。

建物外部において、視線を遮らない様な樹木の配置、庭園灯による夜間照明の設置、防犯カメラの設置、防犯に役立つ窓の配置などを行い、防犯性に配慮している。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.0

ブリシア横浜石川町

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-			2.7
Q1 室内環境					0.40		-			3.2
1 音環境				3.0	0.15	3.3	1.00			3.2
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.6	0.50			-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	4.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	2.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				1.0	0.35	3.2	1.00			2.7
2.1 室温制御				1.0	1.00	3.3	0.71			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	3.0	0.63			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	1.00	4.0	0.38			-
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	3.0	0.29			-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-			-
3 光・視環境				3.0	0.25	3.6	1.00			3.4
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.0	0.30			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.50			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25			-
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	1.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.2
1 機能性				3.1	0.40	3.8	1.00			3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性		防 災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防 災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防 災	⑬部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災	⑬部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災	⑬部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災	⑬部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災	⑬部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災	⑬部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防 災	⑭信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防 災	⑭信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防 災	⑭信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防 災	⑭信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防 災	⑭信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.8	1.00			2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50			-
1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				-	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.0

ブリシア横浜石川町

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目					＜非住宅＞	＜集合住宅＞	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)							-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出					地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮					地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮							2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上					快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性							-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー							-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制					省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用					省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.9	0.50	-	-	3.9
4 効率的運用							3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価							-	-	-	-	-
4.1 モニタリング					省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制					省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
集合住宅の評価							3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング					省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制					省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル							-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護							3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水							3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無							-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減							2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減							2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用							3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用							3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用							1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材							2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み							4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用							3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避							3.5	0.70	-	-	-
1 消火剤							-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)							4.0	0.50	-	-	-
3 冷媒							3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境							-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮							3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮							2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止							3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善							2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制							2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減							3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制							3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制							2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮							3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-	-	-
1 騒音							3.0	0.33	-	-	-
2 振動							3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭							3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制							3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制							3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制							1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制							3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制							3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策							3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目								-	-	-	-
＜事務用途＞								-	-	-	-
知的生産性向上への取組					快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
＜住宅用途＞								-	-	-	-
健康と安心								-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策					健康・安心	⑥健康対策	4.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画					健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策					健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)					健康・安心	⑦防犯対策	4.0	-	-	-	-